

安全運転中央研修所研修生の研修後の運転行動に関する調査研究（平成8年度）

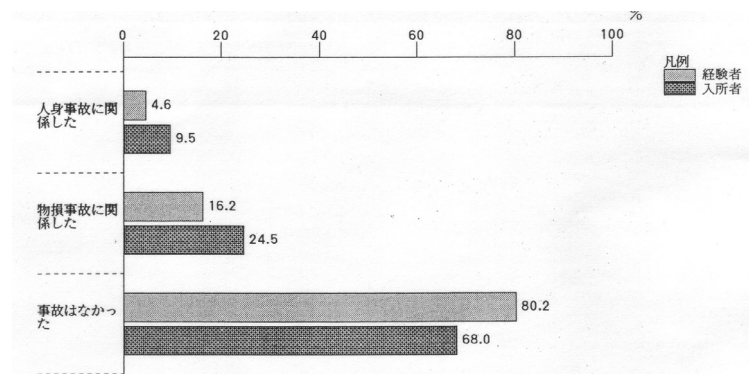
自動車安全運転センター安全運転中央研修所が今後ともトップレベルの安全運転教育総合機関として社会のニーズに応じていくためには、その研修カリキュラムや研修内容についてなお一層の改善を加えていく必要がある。このため、研修後の意識と行動の変化、違反や事故の動向を調査し、その基礎データをもとに、研修カリキュラムおよびマニュアルの改善を行うことを目標として、研修生に対するアンケート調査・分析を行った。

① 平成5～7年度の中央研修所研修経験者 8,080 人（回答者 5,165 人）について、研修後の運転行動に対するアンケートを実施した。また、平成8年末に中央研修所に入所した直後の研修生 200 名に対し事故経験の有無等を調査した。

② この研修経験者調査と入所時

調査を比較した結果、過去5年間に「人身事故に関係した」との回答は入所時調査で 9.5%であったのが、研修経験者では 4.6%に減少している。「物損事故に関係した」のは、入所時調査 24.5%が、研修経験者 16.2%に減少している。逆に「事故はなかった」とする回答は入所時調査 68.0%に対し、研修経験者 80.2%と増大している(図)。

図 この5年間での交通事故経験



「交通違反がある」との回答は入所時調査では 36.5%、研修経験者では 23.8%であった。

③ 運転中のヒヤリ・ハットが「かなりある」と回答した者が入所時調査では 12.5%であるのに対し、研修経験者では 8.5%に減少している。逆に「ほとんどない」という回答は入所時調査の 12.5%に対し、研修経験者では 25.9%に増大している。

④ 42 の項目について、それを行っているかどうかを入所時調査と研修経験者を比較した結果、研修を受けたことによって、ほとんどの項目において成果が表れ、それができていない者の比率が少なくなっていた。

⑤ 研修全体に対して「役立った」と評価する声が高く、教官の指導についても実技指導は際立って評価が高く、理論指導の評価もかなり高い。自分たちが受けた研修を職場の同僚や後輩に「是非受けるべきだと勧める」とする意見が6割以上あり、「できれば受けた方がよいと勧める」という意見まで含めると 95%にまで達している。

⑥ 研修経験者の9割近くが「職場の指示」で研修に参加したと答えており、93%が参加費用は「全額職場負担」と答えている。ただ、職場で研修の成果が評価されたとする者は46%にしか達していなかった。

⑦ 中央研修所の研修効果を高めるためには、研修の効果測定はあらゆる機会に行われるべきであり、意識調査の積極的展開も図るべきである。研修生を送り出している派遣元のニーズに対する調査も重要であろう。研修項目について、本当にそれが必要なかを検討する必要がある。最後に、本調査研究で得られたデータをもとに、新たな改善提案が積極的になされるような運用が行われることが、最も重要である。